

会員のひろば

■ すごいと言われるより、ありがたいと言われたい

山田 大西悟彦



定年後は、第2の人生を警備会社に施設警備員として採用され学校に配属されました。勤続5年を過ぎた時点で学校施設警備が廃止となり、警備員としての仕事が終了しました。

数か月後のある日、精華町シルバー人材センターの会員募集を知り会員登録に行き、後日電話連絡をいただき府民だよりの配布をしました。その後草刈りの講習会に参加して草刈り班に入会するにいたり、現在ではメンバー4人で、安全で安心な作業ができるようにがんばっています。

次は、剪定の講習会に参加して剪定班に入会しました。最初は多種にわたり実技の講習を受けましたが、先生の説明がよく理解でき、うまく鋏を使うことができるようになりました。つづいて多目的室で座学の講習を受けました。この剪定の講習会に参加することができて大変よかったです。剪定班と共に初めて学校で電気バリカンを体験したときはほんとうに感激しました。その後、学校と公園でいくつか刈り込みの経験を積みました。次は剪定をやってみたいと思っています。

現在では、安全・適正就業委員に就任し、安全パトロールとして会員の屋内外作業現場にお邪魔しています。その際には皆さま方作業中にもかかわらずころよく委員の話を聞いていただき誠にありがとうございます。

そのときお聞きしたよきお話は資料の1ページとして保存するようにしています。会員の皆さまご協力ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

■ 精華町シルバー人材センターと私

桜が丘1丁目 寄川米雄



精華町桜が丘に引っ越してから13年あまり、25年在籍した乳業メーカーの定年を迎えたのを機に精華町に生活に移し、その後奈良市内の駅前総合学園で2回目の定年を迎えることになりました。当時は年金生活ではありますが家族と庭などをいじりながら優雅な生活を堪能、時折訪れる孫とのたわむれを夢見ていました。

2回目の定年退職をしたものの、まだまだ働く意欲は満ち溢れ、見かけは50歳台を自負して①ハローワーク、②新聞の募集広告、③折込みの募集広告、④職場への直接訪問と、方法を変えながら再就職を試みてみました。

ハローワークや募集広告でも電話するなり年齢確認でお断りでしたが、最初のうちは失業保険受給中でもあり危機感はありませんでしたが、そのうちに受給期間も終わり近くなり、いよいよ本気モードでPCを駆使したインパクトのある履歴書を作成したり、①から④へ根気強く訪問面接を受けるなどの挑戦をつづけたものの、残念ながら年齢制限には勝てず採用通知の朗報はありませんでした。

そうこうしているうちに、シルバー人材センターの存在を知りました。しかし地元には知人もいないし、入会の方法もわからず頼る方法はパソコンで情報収集し、会員資格の手続きをしていたところ、就活のストレスがかなりたまっていたのか、突然の体調異常でダウン。そして2か月後回復にいたり、特別養護老人ホームの宿直業務に就くことができました。

そしてもうひとつは、当時桜が丘3丁目地域班の班長をされていた田中一義氏との巡り合いです。地域班の親睦会とか、精華町在住のシニアが集う「さあ！これから塾」にお誘いをいただきもう4年以上もたち、世界を広げることができました。シルバー人材センターに加入したおかげで田中氏という親友を得ることができ、さらに精華町内に多くの友人を得て生活を潤しております。これもひとえに、シルバー人材センターと班長の田中氏のお陰と深く感謝しております。いろいろなこともありましたが入会してからもう6年と6か月が過ぎました。

ことしで72歳になりますが、まだまだ働ける自分がいます。

まずは現在の特別養護老人ホームでの作業でがんばります。